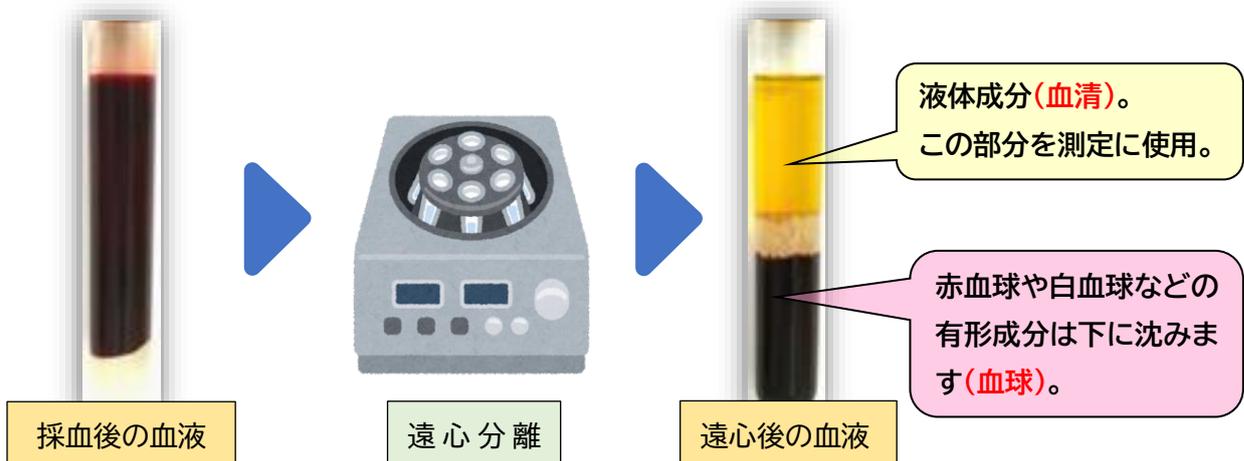


## 生化学検査とは？

臓器を工場とするならば、血管は道路で、生化学検査は道路を走っているトラックの積荷を調べているようなものです。積荷を見ればどの工場(臓器)がどのような状況なのか推測できます。

そして血液は全身の組織を循環している為、常に全身の健康状態を反映しています。つまり、血液の中の成分を調べることでどの臓器にどのような異常が起きているか間接的に調べることが出来ます。

まず採血した血液を遠心分離し、有形成分と液体成分とに分けます。



この液体成分(血清)を材料として約 40 種類の生化学項目を測定しています。

当院では2台の生化学自動分析装置で測定をしています。少量の血清で多くの検査項目が高精度に測定可能です。

使用分析器 『生化学自動分析装置 JCA-BM6050』  
日本電子株式会社製

最大1時間に1200テスト測定可能。1検体約10分で結果がでます。

多くの病院では時間外(夜間、休日等)に測定出来る項目が制限されますが、**当院検査科では、時間外(夜間、休日)も平日の診療と同じ生化学項目が測定可能です。**



## 生化学検査項目

TP、Alb、T-Bil、D-Bil、AST、ALT、LD、ALP、ChE、 $\gamma$ -GT、AMY、リパーゼ、UN、Cr、UA、Na、K、Cl、Ca、IP、Mg、Fe、CK、CK-MB、TC、HDL-C、LDL-C、TG、血糖、CRP、MMP-3、KL-6、GA、TPLA、RPR、FER、 $\beta$ 2MG、IgG、IgA、IgM、ヘリコバクターピロリ抗体 など

## 組み合わせ例

### 肝機能検査

AST、ALT、LDH、ChE、 $\gamma$ GT、総蛋白(TP)、アルブミン(Alb)など

### 脂質代謝検査

総コレステロール(TC)、HDL-C、LDL-C、中性脂肪(TG)など

### 腎機能検査

尿素窒素(UN)、クレアチニン(Cr)、尿酸(UA)など

### 糖尿病の検査

血糖、グリコヘモグロビン(GA)、ブドウ糖負荷試験など

### 膵機能検査

アミラーゼ(AMY)、リパーゼなど

### 心臓機能検査

クレアチンキナーゼ(CK)、CK-MB、AST、LD など

## 異常値がでたら

**各項目には基準値が設定されています。**

**基準値**とは、検査結果を判断する目安となる値です。通常、多くの健常者の検査データを統計処理して、その中の **95%の人が含まれる検査結果の範囲**を求め基準値としています。そのほか、各種学会(糖尿病、動脈硬化学会等)が定めた診断基準値もあります。

**基準値から外れたからといっても必ずしも異常とは限りません。**

測定条件や個人の生理的変動によって値が変動する項目もありますので、何れかの項目が少し外れたからといってあまり神経質にならないことも重要です。最終的には医師が色々な情報を総合的に捉えて診断します。